

市史編さんだより

2009. 11. 4

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

着々と「民俗編」 いよいよ入稿段階へ



平成 22 年 3 月刊行予定の相模原市史「民俗編」。原稿が集まり、写真の割付けをして入稿するための原稿組み見本を作成しています。上の写真は、古淵の大日堂で行われている和讃の様子で、本書に掲載します。古淵の和讃は「伝承」と「社寺の行事」の両方の項目で取り上げますが、記述内容の重複を避けるなどの編集作業を行っています。

〰〰〰〰〰 「自然編」「現代資料編」「現代図録編」等 販売書店 〰〰〰〰〰

紀伊国屋書店相模原店（相模大野） ブックスアミ南口店（相模大野） 柴胡書房（文京） 相模書房本店（相模台）
渡辺書店（相模台） 相模書房女子美術大学店（麻溝台） 久保田書店（千代田） 中村書店淵野辺本町店（淵野辺本町）
中村書店ダイエー店（上溝） 中村書店本店（横山） 三基書房（田名） 中村書店田名店（田名） 中村書店橋本店（西橋本）
有隣堂ミウイ橋本店（橋本） カクダイ書店（二本松） 山本書店（津久井町中野） 敏正堂（相模湖町与瀬）

神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会 視察研修会報告

宮内庁書陵部（千代田区千代田）

今回の研修会では、普段なかなか訪れる機会のない宮内庁書陵部へ、視察研修として見学することができました。

書陵部では、皇室関係の古典籍・古文書類および明治以降の宮内庁作成公文書を収集・調査し、永年保存を行っています。建物は平成9年に建てられた真新しいもので、皇居内の本丸跡近くにあります。

書庫では歴代天皇の直筆の手紙や文書、明治の元勳ゆかりの品々など、たいへん貴重な資料群が厳重に保存されています。書陵部はこうした日本の文化・歴史を物語る資料を後世に受け継いで行くという重要な役割を担っています。



宮内庁書陵部

国立公文書館（千代田区北の丸公園）

研修会では国立公文書館への視察も行いました。こちらは内閣府や各省庁が作成した公文書を収集し、永久的に保存するための機関です。

公文書を保存することは、国の歴史を記録するためにとっても重要な事業です。また近年は、国民への説明責任という観点から、資料の閲覧・展示・インターネットによるサービスなど、多彩な情報公開の取組みが行われています。

視察では、資料の永年保存には欠かせない修復の工程を見学することができました。現在、修復には伝統的な手作業と最新機器が併用されています。こうした効率的な作業によって、膨大な数の文書類が破損から守られていることが分かりました。

市史講演会報告



平成21年9月19日(土)に市史講演会「化石から読み解く 約250万年前の相模原の自然」を市立博物館大会議室で開催しました。

講師は松島義章さん（自然編調査執筆員、放送大学客員教授）で、化石の復元図や今春刊行された『相模原市史自然編』所収の資料などを通して、約250万年前の相模原周辺の自然環境について説明していただきました。

参加者は104名で、皆さん熱心にプロジェクターに映し出される資料を見ながら、先生のお話に耳を傾けていました。

次回の市史講演会は、平成22年3月27日(土)に開催予定です。詳細は、「広報さがみはら」や3月発行の「市史編さんだより」などでお知らせします。

調査も佳境、体に気をつけて！ 石造物・景観調査

皆さん元気を楽しみながら、調査は佳境を迎えています。今年は暑い8月も調査期間に入っており、心配しておりましたが何事もなく乗り越え、はや11月。これからはどんどん寒くなってまいります。インフルエンザも心配です。どうぞお体に気をつけて下さい。各調査チームの様子を紹介します。



大野北チーム

東林チーム

上鶴間チーム



大野南チーム

相模台チーム

大野中チーム



清新チーム

小山チーム

編さん室の動き 9月・10月

- | | | | |
|---------|---------------------|-------|---------------------|
| 9/1日～6日 | 中世石造物調査
(無量光寺ほか) | 10/7日 | 社寺事前調査(上鶴間本町) |
| 7日 | 民俗調査(古淵) | 11日 | 考古部会 |
| 8日 | 資料調査(国立国会図書館) | 15日 | 神史協視察研修(宮内庁・国立公文書館) |
| 10日 | 公民館連絡協議会での調査報告 | 21日 | 社寺事前調査(当麻・下溝) |
| 12日 | 近現代部会 | 23日 | 歴史的公文書の引継ぎ(城山総合事務所) |
| 16日 | 社寺事前調査(鶴野森・上鶴間本町) | 31日 | 昔の市政についての懇談会 |
| 19日 | 昔の市政についての懇談会 | | |
| 19日 | 市史講演会 | | |

中世石造物調査

市域には中世に建てられた宝篋印塔・五輪塔・板碑ほうきょういんとう ごりんとう いたびと呼ばれる供養塔があり、これらは考古編に収録する計画です。9月1日から6日の間、大学院生らの協力を得て、考古部会の調査執筆者による調査が実施されました。

鎌倉時代の創建を伝える当麻の無量光寺にある宝篋印塔・五輪塔、上矢部・淵野辺本町・上鶴間本町・上溝・当麻・下溝に所在する板碑などを対象として、各部分の計測、刻まれている銘文めいぶんの確認、凶化のための写真撮影等が行われました。現在、調査資料の整理と成果のまとめが行われています。



当麻：個人宅での板碑調査

近現代部会報告 9月12日（土）開催

「現代通史編」の刊行時期を来年に迎え、体裁の確認や掲載する年表の作成方法についての検討を行いました。併せて原稿提出日や編集スケジュールを確認しました。

考古部会報告 10月11日（日）開催

7月の会議に引き続き、考古編の主要な部分となる市内遺跡の解説について検討が行われました。各執筆者からは、これまでに決まったレイアウト・記載方法に基づいて記述された、合計15遺跡の検討用原稿が提出され、細部の記載の仕方や挿図の縮尺率などについて、さらに検討が進められました。

米軍基地内に今も残る社やしろ ー相模神社ー



文化遺産編に収録する文化財の候補を選定するため、近現代の建築物や土木遺産を調査しています。8月にはその一環として米陸軍相模総合補給廠の中で、今でも公園として大切に保存・利用がされている相模神社を訪ねました。

この神社は、昭和17年（1942）に旧日本陸軍・相模陸軍補給廠の従業員の献金により造営されたものですが、祠の周りにはたくさんの樹木が植樹され、回遊式の池や太鼓橋を配するなど見事な造りがされています。今でもここは、芝生で整備された補給廠内であって、鎮守の森を想わせる日本的なたたずまいを残しています。